

インクルーシブ教育科目開発に係る連携状況

2023.03.02

兵庫教育大学
岡村章司

(株) LITALICO
安原健朗

(一社) UNIVA
野口晃菜

1

育成したい資質・能力(目標)

インクルーシブ教育
の理解とその展望

- ・ 共生社会とインクルーシブ教育システムの意義
- ・ 特別支援教育
- ・ ICF (障害の社会モデル)
- ・ 多様な学びの場
- ・ 地域におけるインクルーシブ教育の展開

インクルーシブ教育
推進に必要な知識や
支援力

- ・ ニーズのある子どもの実態を把握する力
- ・ アセスメントに基づき個別の教育支援計画・個別の指導計画を立案する力
- ・ 支援を実施し評価する力
- ・ 特別支援教育の視点を踏まえた学級経営・授業づくりができる力

関係者と協働する力

- ・ 多様な子ども (不登校、外国人、貧困層など) を理解する力
- ・ 教師間でのコミュニケーション力
- ・ 関係者間でのコミュニケーション力

2

試行的授業 アンケート

- 1 自己紹介
- 2 インクルーシブ教育について知っていること、聞きたいこと
- 3 理想的な学校とは？

インクルーシブ教育
に関する理解の促進

- ・柔軟な考えが必要
- ・当たり前が実は当たり前ではない
- ・ただ一緒にいればいいというわけではない
- ・自由さがある教育
- ・教師と生徒の信頼関係によって成立。生徒が積極的に自分の困りを出し、教師は困りを受け入れてくれる。これが根底に必要である

「多様性」の探究

- ・多様性に関する話題は身近な体験・経験に転がっており、意識して考えていく必要がある
- ・多様性は道徳との関連が強いのではないか
- ・多様性を認めるためにも、一人ひとりに個別の指導計画を作れば良いのではないか
- ・多様性を認めるという姿勢は持ち続けなければならない

対話の重要性

- ・コミュニケーションが、多様性を受け入れる手段
- ・コミュニケーションの可能性について、授業内で納得することが多かった
- ・もっと様々な境遇の人々と話してみたい。似通った年代の集団や教育大学内の話し合いを超えてみたい
- ・対話を通して「当たり前じゃない！」って言っていることに気づいた

[新設科目] インクルーシブ 教育基礎論

*Foundation of
Inclusive Education*

到達目標：インクルージョン、インクルーシブ教育の理念および児童生徒の多様性を理解

- 1 インクルージョンとは
- 2 無意識的な偏見や差別を自覚する
- 3 社会的マイノリティの立場から考える（1）：障害について
- 4 社会的マイノリティの立場から考える（2）：性的マイノリティについて
- 5 社会的マイノリティの立場から考える（3）：多様性について
- 6 インクルーシブ・デザインについて考える（1）：合理的配慮
- 7 インクルーシブ・デザインについて考える（2）：ユニバーサル・デザイン
- 8 インクルーシブ・デザインについて考える（3）：QOLの向上
- 9 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（1）：教科教育との関連
- 10 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（2）：生徒指導との関連
- 11 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（3）：外国人児童生徒への支援との関連
- 12 関係機関等との連携を考える（1）：特別支援教育コーディネーターの講話
- 13 関係機関等との連携を考える（2）：自治体担当者の講話
- 14 関係機関等との連携を考える（3）：民間企業の講話
- 15 インクルージョンに関する意義を整理する：無意識的な偏見や差別を自覚する

[新設科目] インクルーシブ 教育実践論

*Practical studies
in Inclusive Education*

到達目標：インクルーシブ教育を実践する素養を高める

- 1 特別な教育的ニーズのある児童生徒等を含めた学級経営のあり方
- 2 理想の学級を作ってみよう1：学級経営について考える
- 3 障害のある児童生徒等を含めた、教科等の諸領域との関連性を踏まえた授業のあり方
- 4 理想の学級を作ってみよう2：授業について考える
- 5 理想の学級や授業を共有しよう
- 6 学級経営や授業づくり、学校づくりの実際
- 7 当事者、保護者からみた授業や学級、学校
- 8 多様な児童生徒からなる学校・学級とは—第1～7回のふり返り—
- 9 個別の指導計画・個別の教育支援計画の概要（指導計画作成演習）
- 10 個別の指導計画に基づく指導の実際
- 11 アシスティブ・テクノロジーを用いた個別の指導
- 12 支援会議の概要
- 13 模擬支援会議の演習
- 14 模擬支援会議の振り返り
- 15 インクルーシブ教育を展開するために

5

(株) LITALICO (利他利己)

到達目標：インクルージョン、インクルーシブ教育の理念および児童生徒の多様性を理解する

- 1 インクルージョンとは
- 2 無意識的な偏見や差別を自覚する
- 3 社会的マイノリティの立場から考える（1）：障害について
- 4 社会的マイノリティの立場から考える（2）：性的マイノリティについて
- 5 社会的マイノリティの立場から考える（3）：多様性について
- 6 インクルーシブ・デザインについて考える（1）：合理的配慮
- 7 インクルーシブ・デザインについて考える（2）：ユニバーサル・デザイン
- 8 インクルーシブ・デザインについて考える（3）：QOLの向上
- 9 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（1）：教科教育との関連
- 10 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（2）：生徒指導との関連
- 11 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（3）：外国人児童生徒への支援との関連
- 12 関係機関等との連携を考える（1）：特別支援教育コーディネーターの講話
- 13 関係機関等との連携を考える（2）：自治体担当者の講話
- 14 関係機関等との連携を考える（3）：民間企業の講話
- 15 インクルージョンに関する意義を整理する：無意識的な偏見や差別を自覚する

「多様性」
「アンコンシャス・バイアス」
「マイクロアグレッション」



自身の捉えの自覚

6

授業「自らの捉えからインクルージョンを考える」



自分事



マジョリティに
偏った社会

社会モデル
特権/抑圧



自分の立ち位置

自分と結び付ける
質問ワーク



日常の行動を変える

バイアス
マイクロアグレッション

7

企業としての貢献の可能性

- 1. 授業での貢献
 - 関係機関等との連携
 - 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成方法
- 2. 実践の場への参加・インターンシップ
 - 発達支援の現場
 - 就労支援の現場
 - 学校支援の現場

8

錦城護謨(株)

到達目標：インクルージョン、インクルーシブ教育の理念および児童生徒の多様性を理解する

- 1 インクルージョンとは
- 2 無意識的な偏見や差別を自覚する
- 3 社会的マイノリティの立場から考える(1)：障害について
- 4 社会的マイノリティの立場から考える(2)：性的マイノリティについて
- 5 社会的マイノリティの立場から考える(3)：多様性について
- 6 インクルーシブ・デザインについて考える(1)：合理的配慮
- 7 インクルーシブ・デザインについて考える(2)：ユニバーサル・デザイン
- 8 インクルーシブ・デザインについて考える(3)：QOLの向上
- 9 インクルーシブ教育を教師の視点から考える(1)：教科教育との関連
- 10 インクルーシブ教育を教師の視点から考える(2)：生徒指導との関連
- 11 インクルーシブ教育を教師の視点から考える(3)：外国人児童生徒への支援との関連
- 12 関係機関等との連携を考える(1)：特別支援教育コーディネーターの講話
- 13 関係機関等との連携を考える(2)：自治体担当者の講話
- 14 関係機関等との連携を考える(3)：民間企業の講話
- 15 インクルージョンに関する意義を整理する：無意識的な偏見や差別を自覚する

社会の課題と対応しながら発展
してきた経緯
→社会とのかかわり

9

ファシリテーション 演劇ワークショップ

到達目標：インクルーシブ教育を実践する素養を高める

- 1 特別な教育的ニーズのある児童生徒等を含めた学級経営のあり方
- 2 理想の学級を作ってみよう1：学級経営について考える
- 3 障害のある児童生徒等を含めた、教科等の諸領域との関連性を踏まえた授業のあり方
- 4 理想の学級を作ってみよう2：授業について考える
- 5 理想の学級や授業を共有しよう
- 6 学級経営や授業づくり、学校づくりの実際
- 7 当事者、保護者からみた授業や学級、学校
- 8 多様な児童生徒からなる学校・学級とは—第1~7回のふり返り—
- 9 個別の指導計画・個別の教育支援計画の概要(指導計画作成演習)
- 10 個別の指導計画に基づく指導の実際
- 11 アシスティブ・テクノロジーを用いた個別の指導
- 12 支援会議の概要
- 13 模擬支援会議の演習
- 14 模擬支援会議の振り返り
- 15 インクルーシブ教育を展開するために

児童生徒の充実した支援を
支える「支援会議」



協働する体験 対話の重要性

10

先進的な取組を行う学校

到達目標：インクルーシブ教育を実践する素養を高める

- 1 特別な教育的ニーズのある児童生徒等を含めた学級経営のあり方
- 2 理想の学級を作ってみよう1：学級経営について考える
- 3 障害のある児童生徒等を含めた、教科等の諸領域との関連性を踏まえた授業のあり方
- 4 理想の学級を作ってみよう2：授業について考える
- 5 理想の学級や授業を共有しよう
- 6 学級経営や授業づくり、学校づくりの実際
- 7 当事者、保護者からみた授業や学級、学校
- 8 多様な児童生徒からなる学校・学級とは一第1～7回のふり返りー
- 9 個別の指導計画・個別の教育支援計画の概要（指導計画作成演習）
- 10 個別の指導計画に基づく指導の実際
- 11 アシスティブ・テクノロジーを用いた個別の指導
- 12 支援会議の概要
- 13 模擬支援会議の演習
- 14 模擬支援会議の振り返り
- 15 インクルーシブ教育を展開するために

複数担任制
家庭や地域との協働
スクールワイドな支援
↓
学校の捉え直し

教科教育等との協働

到達目標：インクルージョン、インクルーシブ教育の理念および児童生徒の多様性を理解する

- 1 インクルージョンとは
- 2 無意識的な偏見や差別を自覚する
- 3 社会的マイノリティの立場から考える（1）：障害について
- 4 社会的マイノリティの立場から考える（2）：性的マイノリティについて
- 5 社会的マイノリティの立場から考える（3）：多様性について
- 6 インクルーシブ・デザインについて考える（1）：合理的配慮
- 7 インクルーシブ・デザインについて考える（2）：ユニバーサル・デザイン
- 8 インクルーシブ・デザインについて考える（3）：QOLの向上
- 9 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（1）：教科教育との関連
- 10 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（2）：生徒指導との関連
- 11 インクルーシブ教育を教師の視点から考える（3）：外国人児童生徒への支援との関連
- 12 関係機関等との連携を考える（1）：特別支援教育コーディネーターの講話
- 13 関係機関等との連携を考える（2）：自治体担当者の講話
- 14 関係機関等との連携を考える（3）：民間企業の講話
- 15 インクルージョンに関する意義を整理する：無意識的な偏見や差別を自覚する

教科教育
生徒指導
外国人児童生徒等教育等
↓
インクルーシブ教育との
融合

